

## 4-1-5-9 神経内科

### 1. 診療内容

#### 1.1 対象とする疾患

神経内科は、脳性麻痺・てんかん・知的障害・発達障害・神経変性疾患・先天性代謝異常症・筋疾患・末梢神経障害などの神経系疾患の一般診療と共に、小児救急疾患である急性脳炎・脳症、髄膜炎なども、救急診療部・集中治療部と協力して診療に従事した。てんかんでは、脳神経外科と協力して外科的な治療のための診断検査などを行なった。

#### 1.2 検査・治療の概要

診断に必要な検査として、頭部画像検査（核磁気共鳴画像、CT スキャン）、脳血流シンチグラム、神経電気生理検査（脳波、誘発電位、末梢神経伝導速度）などを、外来または入院にて施行した。また、筋ジストロフィーなどの筋疾患などについては筋生検を施行し、遺伝性神経疾患については遺伝診療科の協力の下で遺伝子検査にて診断を行った。

### 2. そのほかの院内外の活動

#### 2.1 院外活動

長澤は乳児の突発性発疹の際に合併する急性脳症の臨床像をまとめ、解熱期に痙攣群発を認める新しい病型であることを報告した。